



No.102 2012・2・10

ISHIKAWA-KEN HISTORY MUSEUM
発行 石川県立歴史博物館
〒920-0963 金沢市出羽町3番1号
TEL.076(262)3236 FAX.076(262)1836
<http://www.pref.ishikawa.jp/muse/rekihaku/>



ISHIKAWA-KEN
HISTORY
MUSEUM

れきはく

企画展

れきはく コレクション 2011



◇会 期

2月18日(土)～3月20日(火・祝)
会期中無休

◇会 場

第1特別展示室

◇開館時間

午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

◇入 館 料

一 般 250円 (200円)

大学生 200円 (160円)

65歳以上の方は200円 高校生以下無料
() 内は20名以上の団体料金

くたにやまかちろうしゅうにかけつみつがこーひーぐ
九谷焼花鳥十二月密画珈琲具

明治時代 谷口金陽堂謹製 市原崇山画

1月から12月までの花鳥が描かれたコーヒーカップと皿12組にティーポット、シュガーポット、ミルクピッチャーがセットされた珈琲具。洋風の喫茶スタイルだが、描かれた図案は純日本の四季の花鳥図十二月で、写生のような緻密な絵が極彩色で染付されている。

明治時代、輸出用に生産された九谷焼は、世界の博覧会へも出品されて需要を獲得し、地元産業の発展や九谷焼の振興に大きな足跡を残してきた。日本が近代国家をめざしていた当時の時代状況を反映した資料といえよう。

企画展

れきはくコレクション2011

開催によせて

本展覧会は、博物館が一年間にどのような資料を収集したのか、お披露目する目的で毎年開催されております。おかげをもちまして、今年度も現代の資料を中心に多くの資料をお寄せいただきました。

近世資料では、利家とまつ（芳春院）の書状を一点ずつ購入したことに加え、金沢の下堤町で蔵宿（藩士の知行米の収納・管理・売却を行う）を営んでいた家の古文書群などをご寄贈いただきました。また、明治時代以降に輸出向けに生産された九谷焼の珈琲具や金沢最後の浮世絵師・島野春彰の下絵資料など、近現代の資料も充実しました。

期間中は、新収蔵資料に関するれきはくゼミナール、週末にはギャラリートーク（全四回）を開催予定ですので、ぜひご来館ください。

関連事業

◆れきはくゼミナール（聴講無料・事前申込不要）

二月十八日（土）午後二時～三時三十分「金沢の蔵宿」 資料課長 濱岡伸也

◆ギャラリートーク（事前申込不要）

二月二十六日（日）「戦争の時代から高度成長期へ―東京オリンピックを中心に―」 学芸主幹 本谷文雄

三月四日（日）「新収蔵 前田家関係史料」 学芸員 塩崎久代

三月十日（土）「金沢最後の浮世絵師 島野春彰」 学芸専門員 大門 哲

三月十一日（日）「金沢町人の生活」 資料課長 濱岡伸也

※午後二時～二時三十分

※参加ご希望の方は入館料が必要です。

平成23年度収蔵資料一覧（平成23年2月～24年1月末現在）

資料名	点数	寄贈者（敬称略）
歴史資料		
蔵宿縄屋文書	1,147	長谷川 孝
袋鐘	1	長崎由美子
火縄銃	1	長崎由美子
古写真	3	井出幸子
金沢南町郵便局設計図	3	井出幸子
軍隊手帳	1	白藤一吉
軍隊手帳	1	村田外代子
釣竿及び付属品	1	松本まゆみ
犀川上流 内川 淵名覚	1	松本まゆみ
相撲番付	1	松本まゆみ
官職区別章など	1	松本まゆみ
東京オリンピック絵葉書	4	松本まゆみ
東京オリンピック記念写真	1	松本まゆみ
古写真	1	松本まゆみ
卓袱台	1	松本まゆみ
近藤修氏収集鉄道資料	363	近藤 修
長尾流體術など資料	5	竹田勝男
村松商店ポスター	1	村松七九
横山致堂四行書	1	松田房徳
白峯登山日記	1	吉村孝子
日露戦争関係写真	28	吉村孝子
日露戦争関係写真	62	吉村孝子
日清韓三国対照明細図	1	吉村孝子
皇太子殿下行啓記念	1	吉村孝子

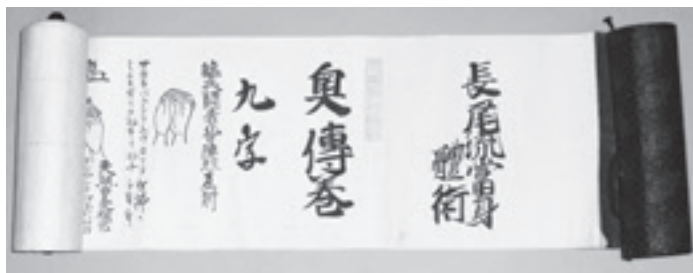
資料名	点数	寄贈者（敬称略）
最新 金沢市街地図	1	吉村孝子
寛永通宝	109	新保昇一
島野春彰関係資料	770	清座文代
北安江農事生産組合文書（追加分）	38	土本 毅
永井柳太郎書簡	3	鷺森澄子
永井柳太郎自筆絵葉書	1	鷺森澄子
集合写真絵葉書	1	鷺森澄子
矢立て	1	鷺森澄子
征露戦記	1	安村和夫
北吉田区養蚕実行組合事務所看板	1	梅本賢治
芳春院書状	1	購入
前田利家朱印状	1	購入
前田利政書状複製	1	複製
絹本絹装前田綱紀公御尊影（前田綱紀画像）	1	修復
芳春院かな書状	1	修復
民俗資料		
茶羽二重地桃太郎文様四つ身	1	新保昇一
掛時計	1	珠州市立宝立中学校
美術品		
盃（戦争関係）	6	村田外代子
刺繍神功皇后三韓征伐図袱紗	1	白藤一吉
九谷焼花鳥十二ヶ月密画珈琲具	1	購入
寄贈・購入・修復資料合計	2,572	



神功皇后三韓征伐図袱紗



寛永通宝



長尾流當身體術 奥伝巻



古写真（井出氏寄贈）



東京オリンピック絵葉書



島野春彰関係資料より 大名行列図（白描）



村松商店ポスター



島野春彰関係資料より 百鬼夜行（白描）

貸出中の館藏品

他の施設でも見られる歴博の貴重資料

歴博の館蔵資料は総数約十六万点にも及びますが、その一部は県内外を問わず、他館の展覧会に貸し出されることが少なくありません。また放送局や出版社へのポジフィルムなどの貸し出しもよく行われています。展覧会や催し物などに比べるとあまり知られていない業務ですが、これも博物館の重要な仕事のひとつなのです。

- ・ミシン 一式 計二件 六点
- ・雑誌『モダン金沢』 五冊 計二件 六点
- 企画展『あらくれ』と大正デモクラシー』
平成二十三年十二月三日(土)
〜平成二十四年三月十八日(日)
- 会場：徳田秋聲記念館
(金沢市・〇七六―二五一―四三〇〇)
- ・喜内敏城郭関係資料 計十一件
- 企画展「金沢城の今昔」
平成二十三年十二月十一日(月)
〜平成二十四年三月二十二日(木)
- 会場：金沢大学資料館
(金沢市・〇七六―二六四―五二二五)
- ・加州金沢製糸場の図 計四件 三十点
- ・前田直行宛書状 ほか
- 企画展「明治・大正期の前田土佐守家
―加賀藩年寄衆八家の近代―」
平成二十四年一月二十二日(土)
〜四月十五日(日)
- 会場：前田土佐守家資料館
(金沢市・〇七六―三三三―一五六二)

行事日程(二〜三月)

月日	行事	内容
2/18(土)	れきはくゼミナル	金沢の蔵宿 (資料課長 濱岡伸也)
3/2(金)	常設展示ポイント解説	懸仏への祈り (学芸主幹 戸淵幹夫)
3/17(土)	れきはくゼミナル	渤海との交流 (学芸専門員 岩島千津代)

開講時間：午後二時〜

◎会場：常設展示ポイント解説：各関係展示室 (約三十分)

れきはくゼミナル：学習ホール (約一時間三十分)

◎受講料：常設展示ポイント解説：展示室内行事につき、入館料が必要

れきはくゼミナル：無料

◎申し込み：不要 ※当日受付へお申し出下さい。



常設展示ワンプイント解説



れきはくゼミナル

主な刊行物のご案内

- 石川県立歴史博物館展示案内 (税込定価) 一、〇〇〇円
- 石川県立歴史博物館蔵品目録 三、五〇〇円
- 加賀百万石への道 ―戦国から太平へ― 二〇〇円
- 昭和ワンダーランド ―モノでたどる戦後― 一、〇〇〇円
- 石川のお宝史 ―名宝から文化財へ― 三〇〇円
- 弥生ムラの風景 ―越のクニ生み・境界・交流― 一、二〇〇円
- 御用絵師梅田九栄と俳諧 ―芭蕉の教えを守った男― 三〇〇円
- 肖像画にみる加賀藩の人々 一、四〇〇円
- ASOBE 百・華・練・乱 ―丸紅所蔵衣裳名品展― 五〇〇円
- 春日懐紙 五〇〇円
- 本願寺展 ―世界遺産の歴史と至宝― 二、三〇〇円
- トキ舞う空へ 鳥と人の文化史 一、〇〇〇円
- 徳川将軍家と加賀藩 ―姫君たちの輝き― 一、〇〇〇円
- くらし&娯楽の大博覧会 ―昭和ヒストリー1926〜1989― 九〇〇円
- 染の華 織の心 ―加賀・能登の技とデザイン― 八〇〇円



※総合カウンターで販売中。定価はすべて税込。郵送ご希望の方は、当館へ直接お問い合わせいただくか、当館ホームページ「刊行物案内(図録等)」をご覧ください。(電話〇七六―二六二―三三三六)

秋のバスツアー「秋麗の敦賀を訪ねて」



秋が深まりつつあった十月二十六日、恒例のバスツアーが四十名の参加を得て行われました。すべての見学先で、現地の学芸員の方やご住職などから丁寧な説明を受け、装飾を施した珍しい木製障子に目を奪われ、国宝や名勝庭園にとどまらず、一般公開されていない施設も特別に見学させていただくことができました。どちらかという通過地と見てしまいがちな敦賀の歴史を学び、一般的な観光コースにはない敦賀を満喫できた一日でした。現地の方々の温かい心遣いに感謝申し上げます。

秋が深まりつつあった十月二十六日、恒例のバスツアーが四十名の参加を得て行われました。すべての見学先で、現地の学芸員の方やご住職などから丁寧な説明を受け、装飾を施した珍しい木製障子に目を奪われ、国宝や名勝庭園にとどまらず、一般公開されていない施設も特別に見学させていただくことができました。どちらかという通過地と見てしまいがちな敦賀の歴史を学び、一般的な観光コースにはない敦賀を満喫できた一日でした。現地の方々の温かい心遣いに感謝申し上げます。

特別展「江戸時代-石川の社会と文化」開催 in 韓国

国立全州博物館との姉妹館交流二十周年を記念した特別展が、韓国全州市で十月十八日から十一月二十七日まで開催されました。韓国で江戸時代を紹介する展示としては、朝鮮通信使など特殊なテーマを除いては初めてとなるもので、石川県内のテレビ局だけでなく、韓国のテレビ局の取材も受け大きく報道されました。甲冑や着物の着用など体験メニューも豊富に組まれ、とても好評で、両館の交流が益々深まることを確信した特別展となりました。



催事日録



第十四回となる石川の歴史遺産セミナーが十一月十二日に開かれました。第一部の講演会では県内外から三名の講師の方をお迎えし、山鉦の祭りや獅子舞など、能登に伝わる祭り文化の起源と歴史について学び、第二部のパネルディスカッションでは講演会の内容を踏まえ、能登の祭り文化のこれからの研究と保存の方向性についてさぐりました。身近な「祭り」というテーマであったこともあり、会場の皆さんはメモをとるなど、とても熱心に聞き入っていました。

今回の歴史散歩は十月十三日、二十五名の方々と本多町界隈を巡りました。城南荘では贅沢な内部のつくりや圧倒され、横山男爵家の財力をはかりかね、国際交流サロンでは日本庭園に心を落ち着かせることができました。「また訪れたい」という声も聞かれ、見学申し込みについて尋ねられる方もいました。地元とはいえ新たな発見があったり、疑問が解けたりする「歴史散歩」ですが、身近な地蔵尊の由来などを知ることができ、有意義なものとなりました。



石川の歴史遺産セミナー「能登の祭り文化」

秋の歴史散歩「爽秋の街歩き-本多町から広坂へ-

平成二十四年度れきはくメイト 会 員 募 集!!

〈対 象〉どなたでも入会できます。
 〈期 間〉平成二十四年四月一日～平成二十五年三月三十一日(二年間)
 〈会 費〉年額一、〇〇〇円
 〈特 典〉広報誌「石川れきはく」、情報誌「れきはくメイト」情報一ほか歴博の最新情報が随時送付されます。また会員証の提示により、常設展の入場が無料(特別展開催時は団体料金)になるほか、「歴史散歩」や「バスツアー」など当館主催の各種行事に参加できます。詳しくは同封の案内書をご覧ください。
 〈入会受付〉二月一日より随時受け付けています。ご希望の方は同封の申込用紙に所定事項をご記入の上、会費を添えて当館総合カウンターへ直接お申し込み下さい。郵送でお申し込みの場合は現金書留か定額小為替でお願いいたします。詳しくは同封の案内書をご覧ください。
 〈申し込み・お問い合わせ先〉
 当館普及課 Ⅸ〇七六二一六二一三四一七



バスツアー



歴史散歩



会員証見本

お知らせ
 常設展示室
 歴史体験コーナー原始・古代編

四月六日(金)～九月二日(日)

楽しい歴史体験ができる人気コーナー。今回は原始・古代編に模様替えです。「衣」と「食」をテーマとして、縄文時代から平安時代までの衣食に関する体験ができます。火おこしや飛鳥時代の衣服の着用など、数多くのメニューを用意しています。

れきはく トリウイア

ナギカエシの祭壇

移築民家が並ぶ第三展示室の中で、ひとときわ異彩を放つ展示物が、「山の民家」の中の「ナギカエシの祭壇」です。

「ナギカエシ」の「ナギ」は「雑畑」の「ナギ」で、白山麓では焼畑のことを「雑畑」と呼びます。稲作に適した平地の少ない白山麓では、古くから山の斜面を焼き払い、焼畑でヒエ、アワなどの作物を作ってきた。「ナギカエシ」は、小松市小原町（旧能美郡新丸村小原）で十二月に行われていた収穫儀礼で、雑畑の道具で祭壇を作り、山の神に収穫物を供えて「お返し」をし、その年の恵みに感謝するものでした。

さてこの祭壇、雑穀の穂を乾燥させるアマボシや脱穀用のホガチウスの上に、リンゾウと呼ばれるサイロをのせます。中からはヒエ、アワが天井近くまで穂をのびし、豊かな実りを表します。ここに使われているヒエの穂は、展示製作当時の歴博職員が、小原出身であった伊藤常次郎氏の指導で焼畑を行い、実際に栽培



祭壇

したものです。当時、五月の「火入れ」に参加した職員いわく、点火した木を引きずり下しながら斜面を焼く危険な作業の上、熱さと煙は想像以上で、気づいた時には日焼けと火の熱で耳の皮がべろりと剥けてしまっていたそうです。

さて、リンゾウの前にはクルミ、クリ、ガヤなどの木の実、大根、山芋などの供え物と共に、ちよつと気味の悪い頭蓋骨が置かれています。実はこれ、本物の熊の頭蓋骨。向かって左が雄、右が雌で、向い合せに置いて夫婦の熊を表しています。白山麓では熊は山の神の使いと考えられてきました。そのため熊に関する伝承も多く、例えば小原では「熊一は山での忌み言葉とされ、山仕事の際は「山の神」と言い換える習慣がありました。これを破ると、熊に遭遇した時に大怪我をする」と言い伝えられていたのです。人に畏れを抱かせる猛獣である一方、白山麓では春先に熊狩りを行い、仕留めた熊は皮、肉から内臓、骨まで余すところなく利用しました。皮や熊の胆を売れば現金収入になり、くらしを潤おすことができました。熊は、畏怖すべき山の神の象徴であり、そして豊かな山の恵みの象徴でもあったわけですね。

現在では白山麓の雑畑は一部で伝承されるのみとなり、ナギカエシが行われた小原地区も大日川ダム（昭和43年竣工）に沈みました。歴博の「ナギカエシの祭壇」は、山と共に生きた人々のくらしを伝える貴重な展示なのです。



熊の頭骨

※トリウイアII 雑学的な事柄や知識、豆知識

本多の森から

あの震災から、やがて一年が経とうとしています。岩手の友人から届いた手紙には、大切な人や思い出の風景を失った悲しみと共に、海に全てを奪われながらも、もう一度ふるさとと海と共に力強く生きようとする人々への、深い感動が綴られていました。人と人の絆を見直す、いま盛んに取り上げられている言葉です。しかし人と人の絆だけなく、土地や風土との絆も、長い歴史に培われてきたかけがえのないものではないでしょうか。

来年度には、歴博も本格的なリニューアル準備に入ります。展示の刷新はもちろん、交流や学びの場として、多くの方に親しまれる博物館となるよう検討を重ねる毎日です。数年後、生まれ変わった博物館が、人や地域との確かな「絆」を感じられる場所になることを願い、来年度も努力していきたいと思えます。

展示替え等による休館日(2/3月)

2月16日(木)〜17日(金)
3月21日(水)〜22日(木)

やさしさ品質

会員募集中

ご来店いただくだけで10ポイントをプレゼント!

Mei《セゾン》カード

毎月3,000円のお積立てで1年後の満期時には1か月分のボーナスをプレゼント

名鉄クローバー友の会

65歳以上のお客様にうれしいサービス

エムザさくら倶楽部

—— もっとお客様へ、もっと地域に ——

MEITETSU
miza めいてつ・エムザ
金沢市武蔵町15番1号 TEL:代表(076)260-1111
http://www.meitetsumza.com/